

ロボットプログラミング選手権（病弱教育部門）

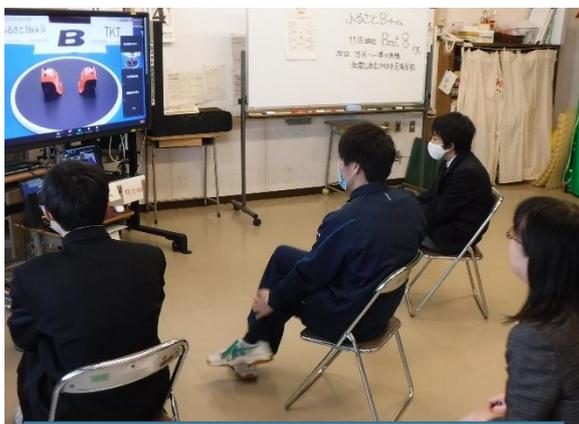
近畿・東海・北陸地区大会

2020.11.11

11月11日、ロボットプログラミング選手権 近畿・東海・北陸地区大会が岐阜県立長良特別支援学校を会場にリモート中継で行われました。この大会は、昨年度から始まり、全国の病気療養中の児童生徒が、ロボットを動かすためのプログラミング技能を身に付け、広い視野と広がる可能性を体感することを目的とした大会です。プログラミングされた小型ロボットを相撲形式で対戦させ競い合います。本校は昨年度の第1回大会から出場し、今年度も2チームが参加しました。

今回参加のふるさと支援 a チームは、主催校の岐阜県立長良特別支援学校に惜敗しましたが、多くの生徒、教員から惜しめない拍手が送られました。ふるさと支援 b チームは、1回戦で京都市立桃陽総合支援学校に、2回戦は和歌山県立みはま支援学校に、準決勝では長良特別支援学校に勝利しました。決勝戦では、大阪府立刀根山支援学校に敗れましたが、準優勝し、全国大会の切符を手に入れました。対戦中は、学校全体が一つになって応援し、感動と喜びを味わいました。

2月に行われる全国大会でも大健闘を期待しています。



リモート中継で観戦しています



勝っても負けても拍手の嵐です

